

Let's Smile and Say "Hello"

～ 笑顔でひと声かけよう ～

サンプラザ

第 6 6 号

平成28年 1月10日発行

年頭所感

理事長 佐々木 孝

ステントグラフト治療のスペシャリスト
栗本義彦医師を紹介します

平成27年度新札幌循環器病院 研究発表会開催

総務係長 荒井 大輔

あつべつ健康・福祉フェスタ開催

薬剤科長 御園生 和栄

第40回札幌マラソンに参加しました

藻岩山登山

病院周辺の落ち葉拾いを行いました

金博士の『本音で語ろう』"言葉と友達"

総合診療科 金 有世

お知らせ「禁煙外来」



医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院

年頭所感

理事長 佐々木 孝



明けましておめでとうございます。
謹んで皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、2016年はどんな年になるのか。多難な前途が待ち受けているような気がしてなりません。

一つは消費税率引き上げの問題ですが、これ自体が問題というわけではないのです。社会保障関連の財源としての引き上げですが、高齢化社会の深刻化は年々増大していきます。2025年問題といわれる戦後ベビーブーム世代が全て後期高齢者になるまで進んでいきます。高齢化社会は少子化と表裏一体ですから、社会を支える労働人口が減り、支えられる高齢者が増えることは国家の壊滅にまで至る一大事なのです。

高齢になると、骨も臓器も弱ってきます。病気になりやすくなるけがもしやすいということです。高齢者の医療費は年々増加しており、国費で支えることが不可能になるのはもう見えているのです。

では、どうするべきなのでしょう？

生活習慣病は病気として扱ってはいけない。という過激な意見もあります。これは肥満を病気として扱うか？という理論から展開されます。肥満はだれが見てもわかりますし、

自分でもわかります。どうすればそれを解消できるかも皆知っています。生活習慣の見直しで解消できる問題だからです。それでは肥満を病気として扱わないのであれば、生活習慣の乱れから発症する高血圧や糖尿病（2型）を、さらにはタバコが原因で発症する肺がんや、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、生活習慣にかかわるすべての病気を病気として扱うのはやめるべきだ、という意見です。

現在、病院にかかる病気の中では慢性疾患が最も多くなっています。生活習慣病と呼ばれる疾患を、国費で支えるのをやめることで社会保障費の財源困窮が解消されるという考えを政府が持ってもおかしくはありません。

私も高齢者の一人として対策を考えなくてはならないと思っております。まずは、政府がとんでもない考えを押し付けてくる前に、各自が病気を予防するような生活習慣を実施することです。“楽しいことって体には良くないんだよな～！でも、やめられないよね～”などと言っている時ではないのです。

経済優先の政策をどんどん進め、国民のほうを見ようもしない現行政府。福島第1原発の処理が遅々として進まないのに、国民の健康よりも経済のためという名目で原発の再稼働を進めるような政府のもとでは、自分の身は自分で守ることを肝に銘じなければなりません。「言うは易し、行ふは難し」ではありますが・・・。

年頭に当たり、楽しいことを考える前に頭に浮かんできたのは、こんな気持ちでした。でも、負けてはいけません。病院なんかにかからなくてもいいような健康な体を作るため、ひとつづつからでも良いですから生活習慣を見直しましょう（病院の機関紙らしからぬ年頭挨拶になってしまいました）。



ステントグラフト治療のスペシャリスト

栗本 義彦 医師を紹介します

当院では、平成22年から大動脈瘤に対するステントグラフト治療を行っています。

ステントグラフトとは、ステントといわれる金属を取り付けた、新型の人工血管です。細く折りたたまれたステントグラフト（細いもので鉛筆くらい、太いものは小指くらい）を血管に挿入し、動脈瘤内で広げることで、動脈瘤を治療するのが、ステントグラフト内挿（ないそう）術と呼ばれる手術です。この手術では、胸やお腹を大きく切開することはなく、そけい部（股関節の屈曲部あたり）を4～5センチ切開するだけなので、治療にともなう患者さんの負担はきわめて少なくなります。術後の回復も速やかで、高齢の患者さんにも安全に行うことができ、動脈瘤治療になくてはならない方法のひとつとなっています。（詳しくは、大動脈瘤のはなし <http://stentgraft.jp/> をご覧ください）

当院ではこのステントグラフト治療を行う際に、院外からスペシャリストをお招きして施術していただいております、その一人が栗本義彦医師（手稲溪仁会病院 心臓血管外科 大動脈血管内治療センター長）です。栗本医師は、企業製ステントグラフトが厚生労働省に認可される前から、この治療をおこなっていた日本でも数少ない医師の一人で、これまでの手術経験数は道内一です。現在ではさまざまな企業からステントグラフトが販売されていますが、栗本医師はそれらのあらゆるステントグラフトに精通しています。時には、一般的にはステントグラフト治療が難しそうな場合でも、栗本医師



〈ステントグラフト治療の様子〉

であれば可能となるといった場合もあります。昨年（2015年）の5月には、10月の一般販売に先駆けて、新たなステントグラフトの日本第一例が栗本医師によって当院で実施され、大変良好な成果を得ました。

このように、当院では患者さんの病状・状態に合わせ、場合によっては院外からスペシャリストをお招きして、最善の治療をおこなっています。血管内治療は日々進歩していますが、当院のように心臓血管外科を併せ持っている医療機関だからこそ、安心して治療を受けていただけたと思います。

栗本 義彦 (くりもと よしひこ)

昭和39年4月生まれ

- 【経歴】 平成 元年 3月 札幌医科大学医学部卒業
平成 元年 4月 札幌医科大学 外科学第二講座入局
平成 9年 9月 米国ピッツバーグ大学 胸部外科 研究員
平成10年 9月 米国マイアミ大学 胸部外科 研究員
平成21年 4月 札幌医科大学 救急医学講座 兼 心臓血管外科学講座 准教授
平成25年 1月 手稲溪仁会病院 心臓血管外科 大動脈血管内治療センター長

- 【専門医】 日本外科学会指導医専門医 日本心臓血管学会専門医 日本循環器学会専門医
日本救急医学会指導医専門医 日本集中治療医学会専門医

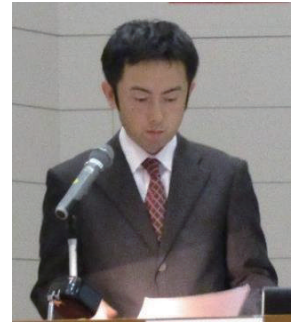
- 【その他】 日本血管外科学会 評議員 日本血管内治療学会 評議員 大動脈ステントグラフト研究会 世話人
北海道ステントグラフト研究会 代表世話人

- 【趣味】 学生時代は野球部とアイスホッケー部でしたが、現在はスポーツ観戦全般
(現在自分でプレーするのはゴルフのみ)
小樽カントリークラブ ルールコンペティション委員



平成 27 年度

新札幌循環器病院 研究発表会開催



総務係長 荒井 大輔

11月28日(土)に厚別区民センターにて「新札幌循環器病院研究発表会」を開催しました。

院内にて演題募集を行い、症例検討や業務改善報告など各部署より13演題の応募があり、患者様へのアンケートの実施やデータ収集・分析などを行い、研究発表の日を迎えました。

病院全体としての研究発表会は今回が初めてとなりましたが、佐々木理事長はじめ73名の職員が出席し、みな真剣な表情で発表に聞き入っていました。また、質疑応答では活発な意見交換があり、それぞれ自分が所属する部署以外の取り組みや業務内容を理解する、とても良い機会になったと思います。

私自身、今回は発表者として参加させていただき、非常に良い経験となりましたし、これを機に他部署とのさらなる連携を図り、患者さまのために、より良い医療を提供していきたいと思えます。

最後に、アンケートにご協力いただきました患者さま、ありがとうございました。

< 発表演題 >

- ・「PCI 症例における画像診断装置」
～画像から読み取れる情報を有効に使う～ 臨床工学科 石附 弘樹
- ・「病棟薬剤業務の取り組み」
～3年間の成果と今後の課題～ 薬剤科 川島 智子
- ・「医療被曝～透視を使用した検査・治療～」
～心臓カテーテル検査・治療における患者への影響～ 放射線科 小山内 道
- ・「CRT 調整に心エコーが有用であった1症例」 臨床検査科 嶋田 志津子
- ・「禁煙外来における喫煙欲求に関する実態調査」
～禁煙日誌による調査から～ 外 来 宮本 真由美
- ・「A 病棟における緊急 PCI 後の生活指導前後の生活習慣は正への意識変化調査」
～指導前後のチェックリストを使用して～ 2 病棟 中村 真希
- ・「穿刺所要時間の実態調査」 透析室 大山 尚美
- ・「循環器専門病院の看護師が感じている急変対応の不安に関する研究」
手術室 松本 奈央
- ・「A 病棟における高齢心不全患者の再入院に関する調査」
～ヨーロッパ心不全セルフケア行動尺度を用いて～ 3 病棟 大西 良子
- ・「心臓リハビリテーションとは」 リハビリ科 田中 佳奈
- ・「高齢患者増加にともなう嚥下ソフト食導入と特別食展開」
～導入から5年、今後の課題～ 栄養科 平山 美奈江
- ・「睡眠時無呼吸症候群の患者獲得へ向けた活動の報告」
～総務課として患者獲得のためにできること～ 事務部総務課 荒井 大輔
- ・「透析診療報酬のデータ分析」 事務部医事課 上林 勝利



あつべつ健康・福祉フェスタ開催

薬剤科長 御園生 和栄

9月26日(土)に厚別区民センターで開催されました「あつべつ健康・福祉フェスタ」に、札幌薬剤師会厚別支部実行委員として参加させて頂きました。

午後から開催の「薬の相談コーナー」では「薬の相談」のほか「体脂肪測定」「血管年齢測定」「肩こり測定」も実施しました。厚別区の病院に勤めている薬剤師と保険調剤薬局の薬剤師が、各コーナーに分かれ担当させて頂きました。私は「体脂肪測定」と「薬の相談」を担当しました。

当院を受診されている患者様で、来てくださった方はいらっしゃいますか。健康に気を付け、薬に興味をもっている区民の方が大勢来てくださり感激しました。特に食生活、運動そして薬の服薬の相談がとても多かったです。「コレステロールがあまり高くないのに、薬を服用していて大丈夫?」「何か所もの病院から薬をもらっていて薬の量が多くて困っています」など、皆さんが色々な心配され悩んでいることを知る良い機会になりました。

是非、これからはどんどん病院、調剤薬局の薬剤師に相談して頂きたいと思いました。当院の薬剤師を受付や廊下で見かけたら、いつでも声をかけて下さい。来年もまたこの様なイベントに参加する予定になっています。気軽に来て頂き、お話を聞けることを楽しみにしています。



第40回 札幌マラソンに参加しました

10月4日(日)に開催された第40回札幌マラソンに当院の職員4名が参加いたしました。全員好成績を収めました。中でも、清水医師は男子ハーフ50歳代で3位となり、見事表彰台に登りました!!

☆ 男子ハーフ (50歳代: 1,078人中)

清水 栄一	3位	1:20:07
神吉 和重	50位	1:31:50
山田 陽一	134位	1:38:38



☆ 女子ハーフ (30歳代: 341人中)

細谷 好美	17位	1:39:47
-------	-----	---------



藻岩山登山

10月31日（土）に、恒例の藻岩山登山を行いました。

当日は雨、もしくは雪が降るかも・・・という予報の中、佐々木理事長はじめ総勢 15 名が参加しました。

集合場所の慈啓会病院前登山口では、みな寒い寒いと震えていましたが、13時に登山を開始するとあっという間に汗をかき始め、上着を脱ぐ人も出てきました。



足元のぬかるみに苦労しましたが、約 1 時間後、全員無事に登頂しました。

山頂からの展望は今ひとつでしたが、みな登頂した達成感で笑顔が見られました。頂上は寒く、全員で記念撮影後、早々に下山を開始しました。

15時に、怪我もなく全員が笑顔で登山を終えることが出来ました。

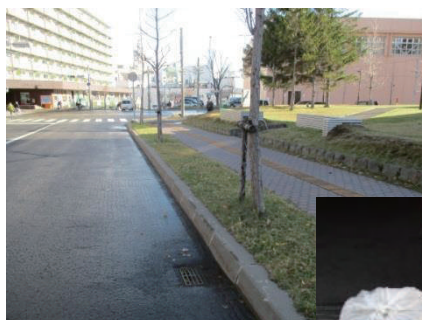


病院周辺の落ち葉拾いを行いました

11月5日・13日・16日・18日の4日間にかけて、毎年恒例となっております病院周辺の落ち葉拾いを実施しました。

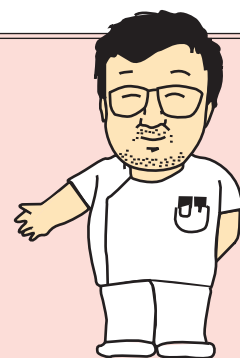
寒空のもと事務部の職員が作業を進め、4日間でゴミ袋24個分の落ち葉を回収し、病院前、周辺の道路もすっかり綺麗になりました。

今後も、地域の環境美化のために、落ち葉拾いやゴミ拾いなどの清掃活動を継続していきたいと思います。



金博士の

『本音で語ろう』 64



“言葉と友達”

世の中には云って良いことと悪いことがあります。

「うわさに聞いていたのとは違い、お会いしてみたら良い方なんです」と云われると、聞く方は、悪い人だと思われていたんだなと気づき、気持ちが良くない。ほめ言葉のつもりが、相手を傷付けることになるから「云って悪いこと」になります。

逆に自分が周りからどう見られているのかが気になり、聞いてくる人がいます。良いことを云ってあげたいところですが、「人は必ず、良いところと悪いところをあわせ持っているので一概には・・・」と、まずは答えておくのが一番良いことかもしれません。

そして、「云って良いこと」として「お互いの良いところを伸ばし合い、悪いところを認め合える間柄の友達になりたいですね」と、もう一言添えるというのは如何でしょうか。

総合診療科 金 有世

お知らせ

「禁煙外来」

当院では、「ニコチン依存症」に対する禁煙治療を実施しています。
以下の条件を満たした方は、**保険適用の禁煙治療**が可能です。

〈 保険適用の禁煙治療の条件 〉

- (1) 今すぐに禁煙しようと考えていること
- (2) 1日の喫煙本数 × 喫煙年数 = 200本以上あること
- (3) 過去1年以内に禁煙治療の経験がないこと
- (4) ニコチン依存症のスクリーニングテストが5点以上あること
- (5) 禁煙治療を受けることを文書により同意していること



予約制 (事前にご予約下さい。)

【診療時間】 毎週金曜日 9:00~10:00

外来担当医診療予定表 (平成28年1月10日現在)

	月			火			水			木			金			土			
午前	予約制	予約制	腎臓内科 総合内科	予約制	予約制	総合診療	出張医	予約制	腎臓内科 総合内科				予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	医師交代制	総合診療 金
	佐々木	山田	清水	佐々木	馬場	金	北大納谷	大坪	清水	馬場	大坪	佐々木	神吉	山田					
午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制		出張医	予約制	出張医				予約制		腎臓内科 総合内科	出張医 第1-3-5週 2:00~			
	神吉	馬場	藤井	佐々木	大坪		北大納谷	馬場	消化器科	佐々木	山田		藤井	清水	佐藤				

診療受付時間

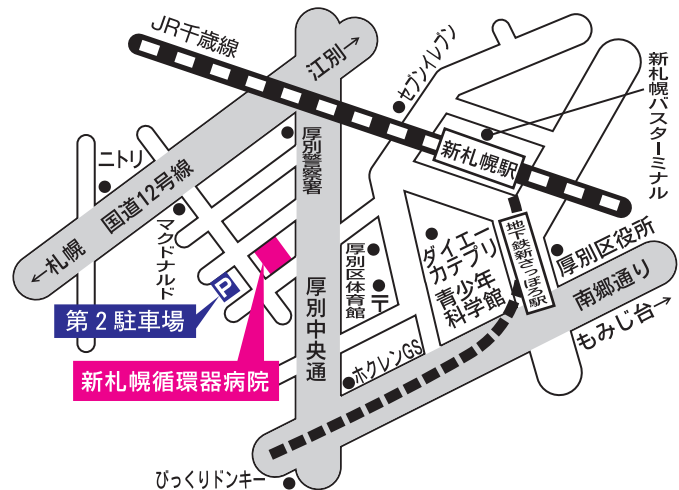
平日	午前	9:00 ~ 12:00
	午後	1:30 ~ 4:30
土曜日	午前	9:00 ~ 12:00

- * 新患受付時間 午前 9:00~11:00
午後 1:30~3:30
- * 土曜日は午前からのみの診療となります。
- * 循環器救急のお問い合わせは24時間対応しています。

診療科目

- 心臓血管外科 人工透析内科
- 循環器内科 胸部外科
- 腎臓内科 リハビリテーション科

病院案内



■ 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9番25号
TEL 011-892-1556

■ 地下鉄 (5番出口) ・ JR ・ バスターミナルより徒歩5分

■ 面会時間 平日 午後 2:00 ~ 午後 8:00 / 土日祝 午前 11:00 ~ 午後 8:00



お車で
ご来院の
患者様へ

病院横駐車場 (18台) / 第2駐車場 (18台)

コナミスポーツ立体駐車場につきましては、割引 (無料) 利用はできませんのでご注意ください。

■ ホームページ随時更新しております。ぜひ、御覧ください。 <http://www.sshoc.jp>

編集・発行/医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院 広報委員会 責任者/馬場 政美 顧問/金 有世